

《一液型濁水処理剤》

# ハイディー 100

## 使用説明書

濁水中の微細な懸濁粒子は、粒子表面の水和および表面電位による静電的反発により沈降せずに分散状態にあります。〈ハイディー 100〉は、水中の懸濁粒子の表面電荷を中和し、個々の粒子を不安定化させ、高分子凝集剤のもつ活性官能基による粒子間の吸着、架橋効果により微細粒子の集合体、すなわちフロックを形成します。

〈ハイディー 100〉は、土木・ボーリング工事から発生する濁水の特性に適合するようにイオンを適度に調整し、〈ハイディー 100〉単品での添加攪拌により濁水処理できるように、新しい発想に基づき研究開発された一液型の濁水処理剤です。



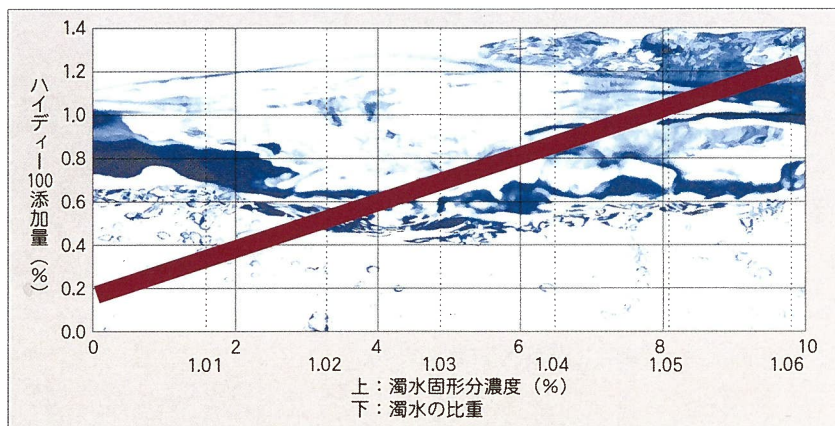
## 〈ハイディー100〉の特長

1. 一液型であるため扱いやすく、原水のSS濃度の変動にも簡単に対応できます。
2. 処理する濁水に少量の添加攪拌で、フロックが生成します。フロックは、沈降性、濾過性、脱水性に優れています。
3. 液状なので凝集剤溶解設備は不要です。
4. 処理水のpH変動がないため、中和工程を省くことができます。
5. 微細ソリッドを含む広い濃度の濁水に対応できます。

## 〈ハイディー100〉の使用法

- ・処理する濁水に〈ハイディー100〉原液を添加攪拌することにより、〈ハイディー100〉の凝集効果で数秒のうちにフロックが生成されます。攪拌を停止するとフロックは直ちに沈降し、澄んだ上澄液が得られます。
- ・標準添加量は対象とする濁水に対し0.1~0.3% (1~3kg/m<sup>3</sup>) です。

## 濁水濃度と〈ハイディー100〉の添加量の関係

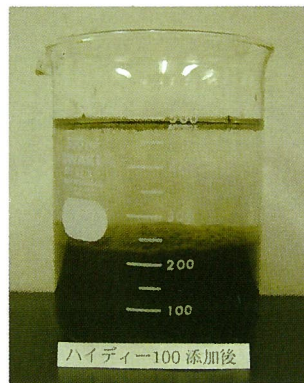
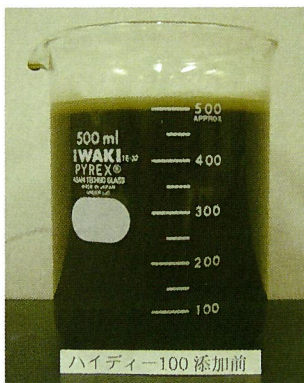


注：濁水性質によって〈ハイディー100〉の添加量が異なります。

## 〈ハイディー100〉の物性

外観：無色透明液体  
成分：高分子系特殊化合物  
比重：1.10~1.20  
pH：8.0~9.0  
粘度：150~300mPa・s  
(B型粘度計：ローターNo.2・60rpm)

## 〈ハイディー100〉での処理写真



### 【泥水配合】

ベントナイト 4.0%  
ポリマー、分散剤 各0.1%  
粘土 5.0%

左記の泥水に〈ハイディー100〉  
1.25%を添加、攪拌。

SS濃度の低い濁水用として、沈降助剤入りの処理剤エストール30(粉末型)も準備しております。併せてご用命下さい。

※このカタログに記載しました技術的データ等は、弊社の技術研究所において細心の注意を払って試験を行った資料に基づくものですが、実際の現場装置等による結果を保証するものではありません。

## 〈ハイディー100〉の荷姿

22kg 入りキュービテナー

## 株式会社 テルナイト

■本 社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-3  
Daiwa神保町3丁目ビル5階  
TEL:03(5843)0009 FAX:03(3221)5061

■越谷試験室 〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町1-287-1  
TEL:048(967)6660 FAX:048(967)6661

■酒 田 工 場 〒998-0064 山形県酒田市大浜1-2-14  
TEL:0234(33)8811 FAX:0234(33)1371

■西日本営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原2-13-1  
サンハレス新大阪  
TEL:06(6397)5249 FAX:06(6397)9681